



豊川市議会議員

二村たか子からのお知らせ

まちの声

豊川市赤坂町紅里26 電話 87-4453 FAX 87-3937

ホームページ <http://7jigen.com/futamura/>

貴重な山栗のむいたものを頂き、栗ご飯を炊いてみた、小粒なのに味が濃くておいしかった。コンニャク芋もいただいたので(げんこつの大きいみたいで面白い形の芋です)わら灰から凝固剤の灰汁をとり、悪戦苦闘して2時間、クニクニのコンニャクができました。秋の幸をたっぷり味わい、本当のぜいたくって、こういうことか!..ひとり言

赤坂の舞台の小屋がけでは、赤坂小学校のみのり太鼓、金沢歌舞伎、一宮南部小学校の歌舞伎クラブの菅原伝授手習鑑と、三蔵子小学校の生徒による長草萬歳が上演され伝統芸能交流がにぎやかに終わりました。小屋がけの皆さんのボランティア活動と、教育委員会のご協力に感謝です。



こんにゃく芋

今年の小屋掛けで 6回目(45年振りに復活してから) 10月に3回の公演をしました。

私達 小屋掛けの会は 赤坂の舞台を活用して、地域の活性化めざし努力しています。今年も復活させてから6回目の小屋掛けに取り組み、10月に3回の公演を行いました。多くの皆様のご支援に感謝と共に 今後ともよろしくお願いします



上:小屋風景



赤坂の関川地区のみこの踊り



茜 太鼓

8メートル以下の標高にある避難所を教えてとの質問にお答えします (詳しくは市のホームページにあり)

下長山地区市民館(7メートル) 天王小学校(3メートル) 桜町小学校(8メートル)
下郷地区市民館(4メートル) 御津南部小学校(4メートル) 西方地区市民館(7メートル)
大草老人憩いの家(3メートル) 小坂井地区の 全避難所が 8メートル以下でした

ご意見をお寄せ下さい。市政に関することなど、皆さんの声も掲載したいと思います。

電話 87-4453 FAX 87-3937 まで

後援会ご入会の案内

「二村たか子を囲む会」は地域の情報交換や市政への提言、夢のあるまちづくりなど自由闊達に話し合う会合を毎月開催しています。ご参加をお待ちしています。

次回会合日 下記にご連絡ください。

ご入会の連絡先 豊川市赤坂町紅里26 電話 87-4453 FAX 87-3937



9月議会は22年度の決算を審査する議会でもあります。議員全員で意見を述べ、来年度予算などに取り入れてもらおうというものです。



22年度決算特別委員会での二村 質問

質問 1-1:

臨時雇用の職員を雇うことにより、時間外勤務手当の削減を図るというが、予算に比べ3860万円多くなった。増えた理由、1人当たり時間外勤務時間数と、単価を聞く。

答:

新たな合併による総合計画の見直し作業の増加、県から生活保護の仕事が移されたこと、宝飯衛生組合の収集業務が市に吸収されたこと、開発ビル関連業務の増加などによる。平均時間は139時間、時間単価は2560円

質問 1-2:

削減に向けた取り組みは？

答:

事前命令と事後確認の徹底、削減に向けての研究を促し、ノー残業デー(水曜日)の実施。1人当たりの時間外が多いところは財政課で632時間、職員の健康も考えないといけない状態と思います。

質問 2:

市の車両管理を一括管理すれば経費削減になるのでは。保有台数と、損保、燃料代などの現況は

答:

市民病院、水道を除き342台、各課で予算を持ち担当管理しているが、管財課が集中管理しているのは40台。燃料費は石油業協同組合との合意で単価が決められるので実質は1括管理と同じとの回答

質問 3-1:

監査で指摘された12件、委託契約で競争入札が可能な業務を随意契約している。861万円、639万円と多額なものがある、管財契約課としての認識は

答

施設における警備業務などは改善すべきと認識。
(すでに改善された)



質問 3-2:

私は3月にガイドラインの策定を求めています、今後の指導内容を聞く

答

随意契約によらねばならない場合も、明確な理由を求め、適正執行に努める。

質問 4:

地元銀行からの借り入れに入札はしているか、利率はどのくらいか

答

8億820万円は6社が応札・・・0.59%
(豊川信用金庫)最も低い金利
8億4660万円は指定金融機関の
優先枠で・・・0.58%
(財政融資資金貸し付け金利0.6%より低い)
1億1040万円は8社応札・・・0.48%
(ひまわり農協)

質問 5:

豊川市の平和記念式典は海軍工廠の被爆体験者による講演が多いが、戦争体験者はシベリヤ抑留など他にもある。これらの方の体験談などは検討したことがあるか

答

平和の語り部もボランティアの方々も高齢になったので、講師や講演について検討してみたい。

他に

- ・ 市民活動センターと市との協働の進み具合
- ・ 病後時保育の事前登録は使い勝手が悪くないか
- ・ 清掃工場のゴミ手数料の単位が100キロとは使い勝手が悪い、見直しは
- ・ 英語活動の教材費が少ないのでは
- ・ 補助教材は利用頻度の少ないものは備品に出来ないか。
- ・ 建築確認と違法建築の指導が出来ているか？等を質問しました。

二村 一般質問



市役所職員の再任用を減らし若年者雇用に切り替えるべきでは

質問 1-1:

市職員の再就職、再任用に対する市民からの批判にどう応えるか

再任用職員の経年変化と現状(病院を除く)、再任用のためのポストを増やしていないか

答:

19年—11人 20年—16人 21年—41人
22年54人 23年—77人で年々増加してるが
正規職員を削減して給料の安い再任用を活用
している。再任用は年金受給までの間、民間と
同じく法により認められており有効な人事管理と
思う。

質問 1-2:

人事管理における人件費削減と、臨時・パート
など非正規雇用の現状は

答:

正規職員と臨時の比較では19年930人と44
7人、20年1110人と668人、21年1075人と
698人、22年1201人と882人、23年1172
人と862人と年々増加している。再任用と臨時
職員の賃金の合計は19年、6億3千5百万円、
22年で8億5千5百万円と増加をしている。大
卒の初任給は約263万円であり再任用77人
分で70人の新卒を雇うことが出来る。勿論年々
の昇給は考えないとならない。

質問 1-3:

再任用の受け皿となる施設管理協会に若年
者を採用すべきでは

答:

経験が市民サービスになるし、市職員の定年
後の雇用対策として設立された経緯を理解して
ほしい。

質問 2-1:

新卒就職率の厳しさへの対応は
年令別職員構成は

答:

一般行政職737人の内訳
50歳代—283人 40歳代—178人 30歳代
—220人 20歳代—55人

質問 2-2:

若い職員が極端に少ないことは、組織の活性
化や、新陳代謝、将来の市民サービスや、リー
ダー不足など懸念材料となる、人事計画では尚
27年まで新規採用の抑制とあるが、市内最大の
事業者としてどう考えるか

答:

保育士や消防士などは退職者以上の採用をし
ている。今後は任期付き採用や、社会人枠、若
年層の採用も行っていきたい。

東日本の瓦礫処理への市の対応は

東日本の復興に関しては、これからも応援をしていくのは当然ですが、世界の常識で
は放射性物質に関しては、封じ込めが第1原則です。海外在住の友人からも「日本人の
危機意識の無さに唖然とする」と厳しい指摘をもらいました。

10月12日に市長への要望書を出しました。(音羽米を育てる研究会と漬物本舗道長さんたちと連名)
汚染が低レベルでも廃棄物を受け入れないこと
瓦礫処理は現地処理を原則とし、安全が担保されない今廃棄物受け入れの検討を進めないこと
この問題に関する動きをホームページで公開すること

県・市の対応

知事が国に質問状を出しました。13日にありました県の意向調査でも受け入れを表明した自治体は
無く、市民の合意が得られなければ難しいというのが大半の意見だとあります。

豊川市は受け入れは白紙とし、逆に放射性セシウム濃度が1キログラム当り 8000ベクレル以下は
安全とする理由を教えてくださいと質問書を出した。

News:市役所の職員が昼休みを利用して、草取り・ゴミ拾いをしています。応援しましょう

新市民病院特別委員会 10月17日 開催

医療機器整備方針について

総額 35億円をめどにする。 地域の中核病院として機能するために必要な機器

新規購入備品207品目— 約8億3千万円

ICUベッド・ICUシーリングシステム・手術映像記録システム

採血管準備システム・OCTスキャナーなど

増強備品150品目— 約8億2千万円

心臓用血管撮影装置・CT装置・核医学診断装置・手術台・内視鏡システム・

超音波診断装置・人工呼吸器・麻酔器など

更新備品421品目— 約18億5千万円

MRI装置(東三河にはない3テスラMRI)・CT装置・乳房撮影装置・

電気メス・ビデオスコープ・血液ガス分析装置・病棟用ベッド・生化学分析装置など



救急救命センター許可されるかどうか

必要な機器をそろえて、ベッドも20床増、アドバイザーとして救急救命のOB医師をそろえて今後のセンター化をめざす。

機種選定方法

購入予定価格500万円以上の医療機器は下記の委員会で決める

内部委員—副院長、診療部長、事務局長、薬局長、看護部長、庶務課長、医事課長、関係所属長、

外部委員—総務部管財契約課の契約担当職員

<イノシシ対策研修>

新城商工会議所で14区内の関係者多数の参加にて(山川海のネットワーク懇話会主催シンポジウム)

小寺祐二教授(宇都宮大学) イノシシの被害対策

川村英三郎(元林野庁長官) 林業再生から始まる鳥獣害対策

国の予算が今までは20数億円だったが今年、来年と113億円の予算配分をして有害鳥獣対策に当る。今現在の状況ですと、山つきの地域に暮らす農業者は意欲がどんどんそがれ、高齢化と合わせて地域の農作物の収穫が少なくなるのではと心配する。

地産地消とか食育が大切だと気がつき始めた私たちだが、農作物を育てる前に、獣害と戦わなくてはならない。特に中山間地は大変だ。

イノシシの好むのは広葉樹林、山に人が入らなくなったので、動物にとってすみやすい環境になっている。最近では水田とか耕作放棄地、いわゆる雑草地が多くなり、イノシシ、シカ、サルなどの生育環境としては非常に棲みやすい場所となっている。

イノシシの防止対策で進入防止柵を効果的に設置するには



農作物が見えないようにする

精神的な遮断(イノシシの警戒心を高める)

この2つを持続させる(柵に隙間は無いが電気柵の場合は電圧を低下させない)

特に効果的なのはワイヤメッシュに忍び返しを作ること、上部30センチぐらいで20~30度折り曲げること草刈をして作物との間を空けること

柵から30センチぐらいは常に草刈をして作物との間を空けること

さらに詳しく知りたい方は小寺さんのホームページをご覧ください。